



HOKKAIDO UNIVERSITY

AMBITIOUS LEADER'S PROGRAM

Fostering Future Leaders to Open New Frontiers in Materials Science

Ambitious 物質科学セミナー

科学研究の信頼性について

長谷川 義和 氏

(有)IQA 代表取締役社長

(株)マスターコントロール 顧問



平成 29 年 9 月 29 日 (金) 15:00~16:20

北海道大学 理学部 7号館 310 講義室

2000 年にアメリカ ベル研究所で起きたシェーン事件や、2006 年の韓国ソウル大学のヒト胚性幹細胞 (ES 細胞) 捏造事件、最近では STAP 細胞事件など、科学論文の捏造事件は後を絶たない。講演では、社会心理学の範疇である「なぜ人間は嘘をつくのか？」を、これまでの事件報道記事から取り上げて、科学論文捏造事件の本質をともに考える。また、医薬品・医療機器の非臨床安全性試験 (GLP : Good Laboratory Practice) の歴史、何故 GLP が必要なのか、GLP の仕組みはどうなっているのか、GLP がグローバルな標準となっている点に関して説明し、「科学研究の信頼性」確保の可能性と信頼性を疑われた時の対策について考える。

講師紹介 : 1972 年北海道大学理学部化学科卒業。卒業講座は化学科有機化学第二講座 (松本先生)。卒業後日本電子(株)分析器事業部質量分析研究室、日本アップジョン(株)高崎総合研究所を経て、1998 年ファルマシア・アップジョン社のつくば総合研究所の閉鎖を期に、有限会社 IQA (International Quality Assurance Associates) を立上げ、医薬品・医療機器の非臨床安全性試験の受託研究施設の信頼性の調査など GLP コンサルティングを提供している。日本 QA 研究会 (JSQA) の会員として、2011 年に第 3 回 GQAC (Global QA Conference) を開催、2013 年にはアジア QA Forum を設立し、大会議長として 2013 年 7 月に第 1 回アジア QA Forum Conference を日本で開催している日本の GPL コンサルティングの第一人者のお一人である。

著書(共著) : 「GLP とは」 - 信頼確保の軌跡 -、日本 QA 研究会 GLP 部会監修、薬事日報社、2015

※本講演会は化学同窓会「るつぼセミナー」の一部としても開催します。

(本セミナーは ALP 科学技術コミュニケーション・リメディアル講習に指定されています。)

連絡先 : 北海道大学大学院 理学研究院化学部門 三浦篤志

(Tel:011-706-3222, Mail:atsushi.miura@sci.hokudai.ac.jp)